

はざま 信仰と人道の間で — レッシング宗教哲学から学ぶ —



Portreto de Gotthold Ephraim Lessing,
fare de Anna Rosina de Gasc cirkau 1767-1768

ガザでのイスラエルとパレスチナの間の激しい戦争によって、巷間ではレッシングの『賢者ナータン』に新たな関心が高まっているという。この名作の中心に位置する「三つの指環の譬喩たとえ」(die Ringparabel)は、ユダヤ教、キリスト教、イスラム教の宗教対立を乗り越える道を例示しているといわれる。しかしこの作品は、ミリヤム・プレスナーが子ども向けのリメイク版で示唆しているような、単なる「宗教を超える愛の物語」ではない。ユダヤ教、キリスト教、イスラム教という三つのアブラハム宗教の中核にある信仰 (Glaube) と、普遍人間的な人間愛すなわち人道 (Humanität) との間には、いまでもなお架橋できない深い溝が横たわっているのか。『賢者ナータン』や『人類の教育』の中に示唆されている、レッシング宗教哲学の「深みの次元」を掘り起こして、現代における「信仰と人道」の問題を皆さんとともに考えてみたい。

日時：11月8日 (金) 16:30~17:50

会場：宮城学院女子大学講義館4階 C405

講師：安酸 敏真氏【学校法人北海学園理事長、北海学園大学名誉教授・前学長】

申込方法：定員 200 名。11/6 (水) 正午受付締切。定員になり次第締切。
テーマに興味を持たれた方は、どなたでも参加できます。

QRコードまたは研究所宛てFAXにて、氏名、連絡先、駐車場利用の有無を
明記してお申込ください。

※できる限り公共交通機関をご利用ください。

都合により自家用車をご利用の方は、駐車場の申込をお願いいたします。
台数に限りがありますので、先着順とさせていただきます。

問合せ先：キリスト教文化研究所

Email: kiriken@mgu.ac.jp

TEL/FAX:022 - 277-6210



<https://forms.gle/ujGKriMzKjdBEGUb6>

主催：宮城学院女子大学附属キリスト教文化研究所
共催：宮城学院女子大学附属人文社会科学研究所